



国際会長 (IP) A. Shanavaskhan (India)

Together for a Better World

「より良い世界のために、共に」

会長 古田 和彦

副会長 秋元 美晴

書記 古賀 健一郎

会計 大高 治

直前会長 古賀 健一郎

アジア太平洋地域会長 (AP) ジョウン・ウォン (香港)

“Make a Great Impact”

「大きなインパクトを起こそう」

東日本区理事 (RD) 山田 公平 (宇都宮)

“Our Future Direction”

「ワイズの方向性を見極める」

湘南・沖縄部部长 (DG) 久保勝昭 (横浜つるみ)

「共に支え合い〜共に喜びを」

横浜クラブ会長 (CP) 古田 和彦

「楽しんで、できる範囲で、YMCA と地域に仕えよう (パートII)」

監事 松島 美一

ブリテン 秋元美晴

担当主事 立花 明美

<今月の聖句>

佐竹 博

「兄弟たち、物の判断については子供となつてはいけません。悪事については幼子となり、物の判断については大人になってください。」

(コリントの信徒への手紙 I 14章20節)

める者たちでありたいと願うのです。今いる会員の一人一人が、クラブライフを通して、楽しさ、やりがい、充実感をもてるのが大切ではないかと考えます。ワイズメンズクラブは、任意のサービスクラブですから、それぞれの事情や興味関心により、できる範囲の奉仕でよいのではないのでしょうか。翻って考えますと、ワイズメンズクラブの会員とよるといふことだけで、献金を通して、世界のワイズメンと連帯して世界平和とSDGsなどの地球的課題解決への取り組みに参加していますし、横浜YMCAの維持会員として地域社会への支援をしていることも覚えておきたいと思えます。

次に、今年度の具体的な取り組みについて記します。私たちのクラブが力を入れている外国人留学生支援ですが、8月30日に、スピーチコンテストが行われます。それぞれ個人でチューター活動や留学生支援に取り組んでいますが、その集大成として「スピーチコンテスト」があります。この企てをより広く地域の皆さんに伝えていくことができるよう、会員各位のご協力をお願いします。また、ウェルカムフェスタでのメネットも含めた奉仕、チャリティーランでの他クラブの方々と協働のボランティア活動は、楽しく喜んでできる活動です。今から楽しみにしています。

もう一つの取り組みとして、湘南・沖縄部内の各クラブとの合同・協力です。どのクラブも高齢化が進み、具体的に働くことができる人が少なくなっていますが、それぞれ、特徴的な素晴らしい活動を行っています。すべて、自クラブで完結するのではなく、それぞれの良いところを共有することを進めたいと思えます。その思いで、8月22日の当クラブ納涼例会を各クラブの皆さんにもお勧めしています。また、今年度も他クラブの優れた企画には相乗らせていただきたいとも考えています。みなさん、楽しんで、できる範囲で、YMCA と地域に仕えていきましょう！

今月のひとこと

2024-25 年度の初めにあたり

古田 和彦



前年に引き続き、2024-25 年度も会長を拝命しました。この年度のクラブ主題を「楽しんで、できる範囲で、YMCA と地域に仕えよう パートII」としました。パートIIとしたということは、昨年度と同じということです。6月号では、前年度の評価を書きましたが、私としては、「楽しんで行う」こと、「それは各々できる範囲でよい」こと、それらの前提に立って、「YMCA の働きに賛同して、YMCA とともに地域に仕えていく」ことが、ワイズメンズクラブ会員の在り方だと思ふからです。そして、同じ志を持つ、他のクラブの同志たちとの交わり、親睦を深

<今月の聖句に寄せて>

子どもの人格や判断力を否定するような差別的な読み方をしないように気を付けてこの聖句に触れる必要があります。物事の判断を目先の利益や、自分の好みによって判断するのではないようにとのメッセージと受け止めています。その代わり悪事については、子どもの純粋で穢れのない道徳心が悪事を遠ざけることを見習い、大人も悪事に対してキリスト教の価値観を物差しに判断しましょうとのメッセージです。むしろ、物事の判断こそ大人としての姿勢、キリスト教価値観に基づく判断が求められている時代なのだと環境問題、紛争や戦争などの社会状況をみると考えさせられます。佐竹博

<2024年6月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
14名	メン 4名 メネット 0名 コメット 0名 ビジター 0名 ゲスト 0名 合計 4名	50% (メーキャップ 3名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

<7月の行事予定>

Kick Off・PR

日	曜	時間	行事内容	場所
11	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y
19	金	9:00	横浜クラブ第二例会	Zoom
27	土	15:00	湘南・沖縄部第1回評議会	とつか

第一例会報告

古賀 健一郎

日時 :2024年6月13日(木)18:30~20:30

場所 :横浜中央YMCA

出席者:秋元、大高、古賀、古田

司会 :古賀ワイズ

1. 開会点鐘及び挨拶;古田会長

2. ワイズソング・ワイズの信条

3. 今月の聖句 :田口ワイズ お祈り:古田ワイズ

4. 卓話;なし

5. ビジネス・報告:6月第一例会資料に基づいて進められた。

行事予定:6月~8月までの行事予定

協議・報告事項

(1)横浜クラブ総会(7月11日)に向けて、

★総会資料作成準備、年度評価、次年度計画案のレビュー
古田:表紙、資料4、資料5、資料7 秋元:資料1、資料2、
資料3 大高:資料5、資料9 古賀:資料8

★上記に基づき、特に、《2023-24年度の評価について》、
《2024-25年度計画について》、《クラブ会計の詳細につ
いて》、役員間で相互理解を得た。

(2)部評議会(6/22)出席-古田・秋元 欠席-大高・古賀(古田会長
に委任)

(3)8月納涼例会準備

8/22(木)18:00~20:00 於 カフェトラプレッセ

①食事 料理の内容 ビュッフェスタイル

②飲み物 ビール、ワイン、ソフトドリンク

③人数の確定時期 8/12(1次締切) 前日微調整

④催し物の計画 久保さんギターその他

⑤費用:ワイズメン 7,000円 ゲスト5,000円

⑥合同例会(各クラブに問い合わせる)、声かけするゲスト⇒参加
者の見込

(4)日本語スピーチコンテスト

8/30に決定。審査員など今後考えていく

(5)ブリテン7月号編集計画

今後の予定等を確認して、閉会点鐘にて会を閉じた

2023-2024 年度湘南・沖縄部 第3回評議会報告

古田和彦

1. 開催日時・場所

2024年6月22日(土)15:00~17:05 於 横浜とつかYMCA1
階ホール

2. 委任状を含め過半数の出席により成立

横浜(会場:古田、秋元 委任状:大高、古賀)

3. 全体司会は部書記の古田和彦ワイズ(横浜)、議事の議長は黒
川部長

4. 議案とその採決結果

第1号議案 湘南・沖縄部名称変更について(承認)

沖縄クラブが西日本区京都部に籍を置いており、新しく沖縄
新風クラブも設立され、西日本区に沖縄部設置の動きがあ
る。現状の「湘南・沖縄部」との名称は実態に合わなくなって
おり、手順を踏んで部の名称を変更したいとの提案を行った。
会場から、名称変更だけでなく、東西日本区の定款(地理的
範囲)にも及ぶことなので、関係先と十分協議の上進めてはし
いとの意見があった。それらの意見を十分踏まえながら進め
ていくこととして承認された。

第2号議案 次次期部長選考について(承認)

次次期部長として次の通り承認された。

兵藤 芳朗(ひょうどう よしろう)ワイズ(鎌倉クラブ)

元鎌倉市副市長、鎌倉YMCA運営委員、74歳

第3号議案 2024-2025年度部長方針と事業計画(案)について
(承認)

第3号議案提案書に基づき、部長主題、基本方針、活動計
画、事業計画が示され、原案通り承認された。詳細は別紙で
示された。

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

第4号議案 次期部役員について(承認)

次の通り提案され、全員異議なく提案通り承認された。

部長 久保勝昭(横浜つるみ) 直前部長 黒川勝(金沢八景) 次期部長 兵藤芳朗(鎌倉) 地域・Yサ事業主査 山田一男(金沢八景) 会員増強事業主査 佐藤節子(厚木) 国際・交流事業主査 今城高之(横浜つづき) ユース事業主査 古賀健一郎(横浜) 書記 板崎淑子(鎌倉) 会計 千葉裕子(鎌倉) 監事 辻剛(横浜つづき) ネット連絡員 佐藤節子(厚木) 担当主事 阿部正伴(厚木)

第5号議案 新クラブ設立準備委員会設置の件の取り下げについて(承認)

第2回評議会で新クラブ設立準備委員会を設置したが、新クラブ設立の目途が立たなくなり設置を取り下げたいとの提案が行われ、承認された。

第6号議案 新クラブ設立準備会の設置について(承認)

小松仲史直前部長を中心に、新クラブ設立の動きがある中で、その実現に向けて部を挙げて全面的な支援を行うべく準備会を設置したいとの提案があった。原案通り承認された。

第7号議案 横浜とつかクラブ解散について(承認)

次の説明と提案があった。昨年来、横浜とつかクラブが解散したいとの意向を受け、鋭意、説得に努めてきた。一時、継続の可能性もあったが、最終的には高齢化などのため会の継続が困難と同クラブは半断し、2024年6月30日をもって解散したい旨、東日本区に届けるに至った。同クラブの決意が固いので、一部会員の転籍などの措置の上、6月末をもって解散することを承認したい、と提案され、協議の結果、解散もやむなしとなり、提案通り解散を承認した。

議事に続いて部長、各事業主査、各クラブ会長、YMCA担当主事から報告・連絡を行った。最後に、辻監事から講評があり、17:05、黒川部長の点鐘で閉会した。

第102回YMCA-Y's協議会報告

秋元 美晴

2024年6月4日(火)19:00～20:30、第102回Y-Y's協議会が横浜中央YMCA 6階608教室で開催された。参加者は約20名である。今回は金沢八景クラブが担当で、開会礼拝は雲走和孝担当主事の聖書朗読(フィリピの信徒への手紙1章9節～10節)、ついで祈禱があった。

議事は、峯尾舜金沢八景クラブ会長の司会により進められた。まず、横浜YMCA佐竹総主事より挨拶があり、同時に2024年の各クラブの担当主事が紹介された。<部担当:阿部正伴><横浜:立花明美><鎌倉:藤沢幸隆><横浜とつか:瀬戸俊孝><厚木:阿部正伴><金沢八景:雲走和孝><横浜つづき:森山真治><横浜つるみ:益聡>。次いで、黒川勝ワイズメンズクラブ湘南・沖縄部部長から挨拶があった。

次の協議では、2件の協議事項があった。1件は第27回横浜YMCA国際チャリティランについて、関口努事務局長より今年度は10月2日にオンライン大会がスタートし、翌日の3日のリアル大会で終了することが報告されたが、これが大会運営上の

変更点である。なお、2023年度の収支報告があり、支援先はアンネのバラ育て隊、キャンプやデイキャンプ、水泳・体操・サッカーのスポーツクラブ、つづきクラブのユースアンダーアイコンサートなどのコンサートプログラム、共に歩む会のキャンプなどである。第27回横浜YMCA国際チャリティラン大会は、実行委員長は久保さん、実行委員は佐竹さん、近藤さん、永野さん、事務局は杉崎さん、関口さんで、大会の目的はこれまでと変わらず、次の1.障がいのある子どもたちのプログラム参加を支援するための寄附を集める、2.障がいのある子どもたちに対する社会の理解や関心を高める、3.大会を通じて多くの協力者となつたり、地域活動やボランティアの担い手を育てるの3つである。なお、Y'sへのお願いとして、・チーム数の確保・大会運営のサポート・6月中旬に開始されるチャリティランTシャツの販売・スポンサーの協賛金の協力・地域でのチャリティランのアピールが挙げられた。

2件目は、第30回AIDS文化フォーラムについて、日時は8月2、3、4日の10:00～17:30、会場はかながわ県民センターで行われる。テーマは「伝えることのむずかしさ」、サブタイトルは「くみんまの本音で聴ける語れるAIDS文化フォーラムin横浜」で25のプログラムと展示が行われる。ワイズメンズクラブ東日本区より特別寄附があり、感謝しているとの報告があった。

報告は、①第3回ユースリーダー感謝会報告は、3月16日に行われ、伊藤直樹ユースリーダーシップ開発事業委員会委員長らからメッセージが送られ、次に横浜YMCAユースリーダー活動報告、表彰式・卒業リーダーのメッセージと続いた。②第27回ワイズメンズクラブ東日本区大会は、6月1日(土)に行われた。佐竹総主事をはじめ立花・森山・益・阿部の各担当主事が参加した。内容は1)2023-2024概要報告があり、活動事例として山梨YMCA・札幌YMCAが紹介された。2)担当主事のマニュアルの共有・再確認が行われた。

③各クラブの報告では、つづきクラブの主催による「富士山を巡る合同例会」について、今城つづき会長より、参加人数(つづきクラブ9名、つるみクラブ4名、横浜クラブ6名、富士宮クラブ4名、YMCA2名、ゲスト3名、運転手さん1名の総勢28名)など、有意義な交流が持つことができたという報告があった。とつかクラブの若木副会長から、3月に30周年記念を終えたという報告があった。

横浜クラブ出席者(大高・秋元)

次回103回は、担当はつづきワイズメンズクラブで、9月3日(火)19:00～20:30の予定で、場所は未定である。

「第27回東日本区大会報告」

古賀 健一郎

第27回東日本区大会は、十勝クラブをホストとして、6月1日・2日に北海道帯広市近郊の「とからプラザ」で約320名の参加者を迎え、盛大に開催されました。

「とからに行かなくやワイズじゃない。とにかく十勝に行こう！」をメインテーマに掲げ、参加者は緑萌える初夏の豊かな自然環境と美食を存分に満喫しました。

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★



(湘南・沖縄部からの参加者)

(1) 【6月1日(土)】

(12:30~)【オープニングセレモニー】

・帯広大谷高校マーチング・とから帯広 YMCA 幼保園園児によるリミックスダンス



【バナーセレモニー】

東日本区の山田公平理事を先頭に、7部の各部長及び59クラブの代表者が、各部およびクラブ旗を掲げてステージに整列する姿は正に壮観で、湘南・沖縄部は黒川勝部長(金沢八景)を先頭に横浜クラブ古田和彦会

長と続いた。

(13:15~)【開会式】

(開会宣言・開会点鐘、聖書朗読・祈祷、歓迎の祝辞、来賓祝辞) 山田公平理事の開会宣言・点鐘(こけし)、池田正勝十勝クラブ会長の歓迎挨拶、来賓の米沢則寿帯広市長、田口努日本 YMCA 同盟総主事、利根川恵子アジア太平洋地域次期会長、及び、深谷聡西日本区理事の皆様から祝辞をいただいた。

(メモリアルアワー)

・年度内に永眠された11人の方々の偲ぶひと時、「メモリアルアワー」。心に響くナレーションに、それぞれの方々のワイズでのお働きに耳を傾け、黙祷を捧げることができたことは感謝であった。

(14:15~)【東日本区アワー I】

- ① 山田公平理事より今年度の区総括としての理事報告、
- ② ユースアワー
・札幌 YMCA 油井スタッフと菅リーダーの YVLF 参加の感想とユースアクションの実践報告
- ③ 大久保知宏代議員会議長の代議員会報告
- ④ YMCA 報告(能登半島地震)

(14:50~)【休息(おやつタイム)】

・十勝クラブのご協力で、十勝のスイーツとよつば牛乳・ヨーグルトなどが用意され、大満足のおやつタイムでした。

(15:15~)【記念講演会】

・「たべるとは生きること」講師：西村淳さん(南極料理人・作家)
・1997年(38次隊)では、地球上で最も苛酷といわれる平均気温-57度の「ドームふじ基地」で越冬。極寒の地で究極の単身赴任生活を送る隊員たちを、食事担当として料理で支えてきた。帰国時には、一年間苦楽を共にした仲間たち、一年ぶりに会える家族(妻、親、子ども)、恋人、友人等との再会の喜びの中で、大好きな人たちと一緒に食べるということがいかに大事であるか、そして「たべるとは生きることである」ことを強く感じたことと西村さんは語られた。

(16:40~)【東日本区アワー II】

(事業主任報告・表彰、理事表彰、奈良傳賞、理事就任式、役員紹介)

(17:45~)【閉会式】

- ① 十勝クラブ 山田敏明 実行委員長挨拶
- ② 大会バナーが、十勝クラブから宇都宮クラブへ引き継がれた。そして、YMCAからの感謝状とYMCAの歌、閉会点鐘をもって東日本区大会の幕を閉じた。

(19:00~)【大晚餐会パーティー】は会場を移して、ホテル日航ノースランド帯広ノースランドホールで開かれた。320人がテーブルに分かれてゆったりと楽しい食事ができました。

晩さん会の最初の乾杯は、日本区時代の理事でもあった京都ウエストクラブの森田恵三さん(90歳)に乾杯の音頭をお願いしました。アスパラガス、有名なインディアンカレーや豚井という独特な料理、握りずしや柔らかいステーキなど。その後のデザートも帯広で有名スイーツのクランベリーのスィートポテトと豪華絢爛で北海道の食の豊かさを堪能しました。最後には地元子どもたち50人以上そろって元気な「よさこいソーラン乱舞」でおおいに盛り上がりました。



(よさこいソーラン乱舞)

アピールタイムとして、最初に第31回アジア太平洋地域大会(熊本)、次に第28回西日本区大会(神戸)、そして第28回東日本区大会(宇都宮)のアピールがあった。



(第28回東日本区大会(宇都宮)のアピール)

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

(2) 【6月2日(日)】

二日目の6月2日は、

(7:30~8:30)【聖日礼拝】

説教「十字架の勝利」 竹井剛牧師 (日本キリスト教会帯広教会)

ヨハネによる福音書 16章31~33節

“十勝”は、ある意味、“十”字架の“勝”利と書きます。私たちは今、様々な困難に直面していますが、イエスさまの十字架の死と復活によって、全ての戦いに勝利を与えられているのです。このことを信じるにより、人の全ての考えに優る神の平安が約束されているのです。

(09:00~14:10)【エクスカージョン(観光ツアー)】

《帯広駅~(よつば乳業)~(道の駅おとふけ)柳月スイートピアガーデン店~帯広駅寺~帯広空港》

1973年(昭和48年)3月、NHKのテレビ番組『新日本紀行』で『幸福への旅~帯広~』として紹介されたのをきっかけに、愛国駅から幸福駅行きの切符が「愛の国から幸福へ」のキャッチフレーズとともに一大ブームになりました。2つの駅は旧国鉄広尾線で結ばれていた。幸福駅:(住所)帯広市幸福町東1線



(湘南・沖縄部からの参加者)

最後に

明るく澄んだ天気象徴する「十勝晴れ」に恵まれた中で開催された東日本区大会では、多くの新たな出会いと、さらなる絆を深めるワイズの楽しく豊かな交流のひと時を、参加者全員で共有しました。

今回の東日本区大会の企画・運営に関わられた関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。

近況報告

齋藤 宙也

アメリカの独立記念日間近に、大統領の免責特権に関する連邦最高裁判例が出た。今まで判例がなかったのは意外であった。一方のバイデン大統領は、高齢で、要するに健康不安疑惑があり、撤退勧告まで出たという。

そのようなアメリカ大統領選も熱いが、日本も暑い。



2年前から、関東は実質的に梅雨がなく、7月頭から危険な暑さが続くようになった。今年は、6月時点の天気予報では7月前半はある程度梅雨となり、梅雨寒はないとしても危険な暑さまでは行かないものであった。しかし、蓋を開けてみると、ある程度安全だったのは7月3日までで、4日以降は暑さが加速し、危険な暑さとなった。

もともと、今年も危険な暑さを予想して、なるべく7月8月は動かないようにするべく、6月中に予定を詰め込んだ。その結果、一時19連勤(まあ、同盟協議会など、どこまでが仕事なのかはよく分からないが…)になったが、そこまでしてでも6月をタイムリミットにした。今年も、これから8月一杯はひたすら危険な暑さが続き、夕立と台風以外雨は降らないであろう。雨は、3月から5月くらいにかまけて梅雨の先取りがされるだけになってしまった。梅雨らしい梅雨は、2週間もなかったといえる。

いつもは遅めの出勤をしているが、夏季にやむを得ず事務所に出てくるときは、起きる時間を繰り上げ、朝8時には家を出る(普通のビジネスパーソン並み)形を今年から試みた。眠気はあるものの、やはり、一番暑さにさらされる朝の通勤は、せめて30度になる前に済ませたい。

9時前の関内は、海側に向かうならば大部分が日陰となり、少しは楽である。今のところうまくいっている。

関東の場合、日の入りは、7月中は基本的にずっと午後7時前だが、8月になると、1か月で35分ほど早まっていく。納涼会の頃には、大分早くなっていることが期待される。それまでネバー・ギブアップとでもいおうか。

いずれにせよ、今年も、昼間の自動車の運転は全て取りやめ、遠出はしない夏となる。

第二例会報告

古田和彦

日時:6月27日(木) 17:10~18:15

場所:Zoomによる開催

出席者:秋元、大高、古賀、立花、古田

協議・確認・検討事項

1. 行事予定

・資料により9月までの予定が示されたが、次の点を変更した。

7月第2例会は7/25から7/19 9:00-10:00に変更する。

9/23 YMCA フェスタを追加する。

2. 協議・報告事項

(1)7月例会(7/11)について

・久保部長公式訪問がある。総会前に挨拶してもらおう。

・総会について 総会資料がすべてそろい、6月例会以降の修正など内容を確認した。

(2)8月納涼例会(8/22)準備について

・8/12が申込期限になっているので、ゲストをできるだけ呼び集めるよう努める。

・他クラブに合同して例会を持つよう呼びかけているが、1、2合同するクラブが出そうである。

・7月中に会場下見を行い、会場配置、受付、座席、ステージ、旗掲出場所など確認する。その場合、合同できるクラブには声をかけ、ともに確認する。

(3)日本語スピーチコンテスト(8/30)について

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

・YMCA 側の責任者平岡氏との打ち合わせ会を持つ。7/4(木)17:30 Zoom とした。

(4)9月例会(9/12)は卓話を予定する。

(5)ブリテン7月号編集計画

別紙資料により確認。なお、8月について、新年度計画を基に担当を決めた。

(6)その他

・6/22部第3回評議会の報告を行った。決議の内容等は、第3回部評議会報告を参照のこと。

・古田ワイズが7/22, 7/29 白内障の手術をするのに伴い、日程等の見直しを行った。



担当主事 立花 明美

専門学校 of 学生たちが参加する予定でした6月28日の常盤町町内会清掃活動ですが、雨天により実施する事が出来ませんでした。ボランティア活動を通して、地域を知り他事業の人たちとの交流も学生教職員共に良い学びの時間となっています。

6月1日(土)~2日(日)ワイズ東日本区大会 @帯広

6月2日(日) 英検 会場

6月4日(火) Y-Y's 協議会

6月4日(火) 会場ガイダンス @日石横浜ホール

6月8日(土) 横浜 YMCA 学院専門学校国際情報ビジネス科オープンキャンパス

6月13日(木)~14日(金)、17日~18日 職員研修 @三浦ふれあいの村、富士山 YMCA

6月12日(水) グローバルキンダーガーデン 遠足

6月18日(火) グローバルキンダーガーデン 避難訓練

6月21日(金) 横浜 YMCA 学院専門学校日本語学科 実習生受入開始

6月22日(土)~23日(日)学童 三浦プレキャンプ

6月29日(土) 横浜 YMCA 学院専門学校国際情報ビジネス科オープンキャンパス

7月例会プログラム

日時:7月11日(木) 18:30~20:00

場所:中央 YMCA

司会 :秋元ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶.....古田会長
2. ワイズソング・ワイズの信条.....全員
3. 今月の聖句.....佐竹ワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介.....古田会長
5. 部長公式訪問挨拶.....久保部長
6. 総会
 - ・議長 古田会長
 - ・議事 1号から7号議案
7. ビジネス・報告.....古田会長
8. *Happy Birthday*
9. 閉会点鐘.....古田会長

例会報告:秋元ワイズ

8月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
2-4	金 ~ 日	10:00	AIDS 文化フォーラム	神奈川県民センター
8	木	17:00	第二例会	Zoom
22	土	18:00	第一例会 (納涼例会)	カフェドラプレッセ
30	金	10:00	日本語スピーチコンテスト	中央Yチャペル

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 立花 明美にご連絡下さい。
 メール tachibana_akemi@yokohamaymca.org
 電話 045-661-0080